

ほし組だより



9月号



令和2年9月1日(火)
尚徳福祉会 井荻保育園

9月に入ったものの、まだまだ夏のような暑い日が続いています。
気温差の激しい時期でもありますので、ご家庭と連携をとりながら子ども達の体調管理に十分に気を付けていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

9月のねらい

- ・ 戸外で十分に身体を動かして遊ぶ
- ・ 自分のできる身の回りの事を大人と一緒にやってみようとする



水遊び

園庭での泥んこ遊び、トマトの水やりなどの経験を通して道具の使い方や様々な感触を体験することが出来ました。子どもたちの心の中に起こる変化は、大人が考える以上に大きいものがあるようです。

大好きな水遊びも始まりました。ひなたの水と水道水の両方を触ってみてその違いに「気持ちいいね」と意識化される姿もみられます。

一人ひとりが満足いく活動が展開されて行かれるように保育への工夫をしていきたいと思っております。

<お願い>

子どもたちの成長に伴い「じぶんで」という思いが強くなってきている今、着脱も自分でやろうとする姿が目立つようになりました。そこで子ども達の思いを育てていきたいと思っております。

例えば、下着がロンパースだと、着脱が思うようにいきません。ランニングシャツ、半そでシャツなど上下が分かれている物をご用意して頂けると助かります。今後、御購入される場合には、ご協力をお願いします。

子どもの姿

生活、遊びの中で自分でやってみたいという気持ちが膨らみ始めてきました。シャワーの後の着替えでは、大人が見守る中、「できるよ!」と衣服に手足を通し、着替えようとする姿も見られます。

1つ2つとできることが増えてくると今度は、お友だちのお世話をする姿も見られます。

子ども達の「自分で」という気持ちを大切にしていきながら、時には、思うようにいかない時に葛藤する思いにそっと大人が手助けをしたり、心の支えとなり子ども達の心が次につながる保育を心掛けていきたいと思っております。